

Olympic in Library
読んで楽しむオリンピック

Recommended by library supporters
January 6 – February 27, 2020



Run for

TOKYO OLYMPICS

● リストの見方

資料タイトル Title / 著者 Author

所在 & 請求記号 Location & Call Number

図書館サポーターからのコメント Library Supporter's Comments

スポーツ競技会とコンピュータ / 浅原保明著

大岡山 : B1F-一般図書 007.6/Ko/1

スポーツ競技が終わった途端、スコアが現場のパネルに映る。世界のどこでも、テレビやインターネットで試合の様子を楽しめる。その裏には、コンピューターが欠かせない。試合の運営と記録、テレビとインターネットでの中継など、コンピューターは多くの役割を果たしている。オリンピックにおけるコンピューターの導入と、その役割について読んでみましょう。

古代オリンピック / 桜井万里子, 橋場弦編

大岡山 : B1F-文庫・新書 081/Id/901

現在行われている近代オリンピックの元となった、紀元前8世紀から紀元4世紀までの古代オリンピック。開催される意図、行われる種目、優勝者の栄光、宗教的価値観、すべてが現代のものと異なっている。もう少しで東京オリンピックが行われる今、古代オリンピックについて学ぶいい機会ではないだろうか。

オリンピック・シティ東京 : 1940・1964 / 片木篤著

大岡山 : B1F-一般図書 518.8/Ka

いよいよ今年開催される東京オリンピック。東京でのオリンピックは今回が2回目ですが、東京が開催地に選ばれたのは3回目ということをご存知でしょうか？この本ではそれらのオリンピックがどのように招致されたのか、またオリンピックによって東京という街がどのように変化したのかを知ることができます。この本を読んで、競技場など直接オリンピックに関わる場所はもちろん、オリンピックを支えるための街の計画や都市基盤がどのように作られていったかを知ること、来年のオリンピック観戦をより楽しいものにしませんか？

かえよう東京：世界に比類のない国際新都心の形成 / 都心のあたらしい街づくりを考える会都市構造検討委員会編

大岡山：B1F-一般図書 518.8/To

本書は森ビルの創業者である森稔と都市計画課の伊藤滋(本書監修)によって発足された勉強会の活動に基づいてまとめられた。オリンピックに向けて目まぐるしく開発されていく東京。その都市構造、交通等は将来どのような姿になってゆくのだろうか…？オリンピック後の私たちの暮らしにどのように影響するのだろうか…？といったことを考える材料として手に取ってもらいたい一冊である。

NEXTOKYO：「ポスト2020」の東京が世界で最も輝く都市に変わるために / 梅澤高明, 楠本修二郎著

大岡山：B1F-一般図書 518.8/U

2020年東京五輪・パラリンピックは日本経済、最大の起爆剤！未来の東京、すなわち「NEXTOKYO」のあるべき姿とは？産業・文化は今後どう進化していくのか？またそれは、どんなビジネスチャンスをもたらすのだろうか？そんな私たちの疑問が、徹底的に解説された一冊である。現在、トップクラスの「世界都市」のひとつとされている東京。未来の東京が、ニューヨーク、ロンドンなどの世界都市に勝る“強味”、“魅力”について、ぜひ考えてみてほしい。

世界をもてなす語学ボランティア入門 / イーオン著

大岡山：B1F-一般図書 689.6/I

2020年に開催される東京オリンピックに合わせ、外国人観光客は年々増加しています。街中で外国人から声を掛けられた時、言語の壁が邪魔をして歯がゆい思いをした方も多いかもしれません。しかし実際には、言語についてそこまで気負う必要はなく、いくつかのポイントをおさえるだけでガイドのハードルはぐっと下げられます。オリンピック開催期間のボランティアガイドに限らず、外国人に日本を案内する際に知っておいて損はしない、日常的に役立つガイド知識をこの本で身に付けてみてはいかがでしょうか。

亀倉雄策のデザイン / 亀倉雄策著 ; 小川正隆, 田中一光, 永井一正編集委員

大岡山 : B1F-一般図書 727.087/Ka

日本を代表するグラフィックデザイナー・亀倉雄策の作品集である。彼の名を一躍世に知らしめた代表作・1964年東京オリンピックのポスターを含む、数々のポスター・ロゴデザインとともに、本人による「制作ノート」を収録。そのデザインの力強さを、ぜひ紙面をめくって体感してほしい。

オリンピック雑学150連発 / 満園文博著

すずかけ台 : 1F-ペリパトス文庫 : 文庫・新書 780/M

「夏季大会と冬季大会で名称が異なる？」など、オリンピックにまつわる雑学が150個掲載されています。今年がオリンピックだと沸いている東京ですが、オリンピック憲章によると厳密には「オリンピック競技大会」なのだそうです。近代オリンピックに加えて古代オリンピックの章もあり、過酷な格闘技では命を落とす選手がいたり、牛が生贄にされていたりと、現在のオリンピックとは様子が大きく異なっていたことが紹介されています。衝撃的な内容も多いので、読んだ後は蘊蓄を傾けたくなること間違いありません。

Sport 2.0 : 進化するeスポーツ、変容するオリンピック / アンディ・ミア著 ; 田総恵子訳

大岡山 : B1F-一般図書 780/M

最近、eスポーツという言葉を目にしませんか？スポーツは既に2.0にアップデートされました！みんな大好き(?)ゲームがオリンピック種目になるかもしれません。この本ではスポーツ、ゲーム、オリンピックの3つの視点を深掘りし、スポーツ×ゲームの解を考えます。オリンピックがもたらすTwitterへの影響もデータを基に解説。東工大から五輪選手が出る日も近いかも？

これから学ぶスポーツ心理学 / 荒木雅信編著

大岡山 : B1F-一般図書 780.14/A

“健康寿命”という言葉はご存じでしょうか？これは病気やケガのない身体はもちろんのこと、精神的にも健康な状態を指します。本書では、スポーツ活動に関する“こころの問題”をテーマに、パフォーマンス向上にむけた取り組みや要因が収録されています。みなさんもこの本を読んで、健康長寿を目指してください!!

スポーツの世界地図 / Alan Tomlinson [著]

大岡山 : B1F-一般図書 780.2/To

一部の国で人気があるのに、他の国では人気がないスポーツがあるのはなぜでしょうか？この美しいイラストが描かれた本で、スポーツを通して世界地図を見てみましょう！

「世界最速の男」をとらえろ! : 進化する「スポーツ計時」の驚くべき世界 / 織田一郎
著

大岡山 : B1F-一般図書 780.4/O

史上最速の男といえば、ウサイン・ボルトです。彼は2009年には9.58秒という異次元の記録を打ち立てました。

何がこの記録を可能にしたのでしょうか？彼の才能と用具の発展は大きな要因でしょう。しかしここで忘れてはならないのが、正確な計測技術なしにこの偉大なタイムは存在しえないということです。

本書は、スポーツの発展と歴史を計時する側の視点からとらえたユニークな一冊です。目視によって計測を行っていた時代から電子化された現代までの技術の発展と、それにまつわる興味深いエピソードを知ることができます。

例えば、かつて計測機器として使われていたストップウォッチはもともと医療機器として発明されたそうです。

本書を読むことで新たな視点でオリンピック種目を楽しむことができるかもしれません。

儲かる五輪：訪れる巨大なビジネスチャンス / 高橋洋一 [著]

すずかけ台：1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 780.6/Ta

2013年9月のIOC総会にて2020年の東京五輪開催が決まって以来、新国立競技場の建設や観戦チケットの抽選など、これまで数々の準備や五輪に関わるニュースが報道されてきました。この本では、自国での五輪開催を楽しみに待つ日本国民や五輪を目指して日々練習に励むスポーツ選手ではなく、五輪を「ビジネスチャンス」として考える人々やその考え方に注目しています。経済効果や日本のスポーツ競技人口に及ぼす影響、五輪後の景気変動など、五輪に関わるビジネスチャンスは思ったよりも身近にあるのかもしれない。

スポーツをテクノロジーする：トップアスリートの記録を引き出した技術の力 / 北岡哲子著；日経テクノロジーオンライン編

大岡山：B1F-一般図書 780.67/Ki

オリンピック陸上100年、100m走の記録は12秒から9秒へ。

ただ人間が進化し続けたからどんどん早く走れるようになったのでしょうか。もし、過去のアスリートが現代にタイムスリップしたら、もっと早く走れるのでは？カール・ルイス(9つのオリンピック金メダル保有)とウサイン・ボルトが最高記録を出したサーフェス(コート面の材質)が実は違って、二人の鍛えた筋肉も走り方も違うのです！もし、カール・ルイスがあ時代の走り方のままで走ったら、今のサーフェスに有利なのか不利なのかは分からないことですね。ただひとつ明らかなのは、競技場とアスリートは相互的に進化していくということ。

技術がスポーツを支えることでアスリートの結実の瞬間、オリンピックがより輝きます。スポーツのテクノロジーの話、2020年の祭典が始まる前に知っておくとオリンピックがもっと楽しめるかもしれません:)

多角化視点で学ぶオリンピック・パラリンピック / 相原正道著

大岡山：B1F-一般図書 780.69/A

2020年に東京オリンピックが開催されますが、オリンピックについて、スポーツの祭典である以上の子細な情報を知らない方は多いのではないのでしょうか。本著はオリンピック・パラリンピックにおける基本的な事項を踏まえたうえで、政治や経済、都市政策、反グローバリズムなど幅広いトピックに絡めて踏み込んだ学習ができるような構成になっており、スポーツに関する心躍る話題からネガティブな側面まで幅広くわかりやすく記載されています。スポーツが好きな方はもちろん、オリンピックに興味の無い方も、オリンピックがどのような影響をもたらすのか本著を読んで今一度考えてみてはいかがでしょうか。

「オリンピックの遺産」の社会学：長野オリンピックとその後の十年 / 石坂友司, 松林秀樹編著

大岡山：B1F-一般図書 780.69/I

2020年に開催される東京オリンピックはおおむね好意的に受け入れられているようですが、一方で大会「後」に遺される有形、無形の遺産（レガシー）については議論が十分になされていません。多額の公的資金の投入が避けられない以上、我々はオリンピックがもたらすポジティブ、あるいはネガティブな効果について理解を深めていく必要があります。本書では1998年の長野オリンピックを対象とした横断的な分析を行っています。

五輪を楽しむまちづくり：ロンドンから東京へ / 喜多功彦著

大岡山：B1F-一般図書 780.69/Ki

2020年、東京ではオリンピックに向けたまちづくりが行われている。スタジアム建設、ホテル建設ラッシュなどお祭り騒ぎだ。だが一方、東京のキャパシティで大人数が収まるか、オリンピック後にスタジアム等をどう活用するかなどの疑問も存在する。本書では同じ島国のロンドンオリンピックの結果を踏まえ、東京オリンピックがどのような効果を生み、日本にどのような影響を与えるかをわかりやすく解説している。

驚異の古代オリンピック / トニー・ペロテット著 ; 矢野野薫訳

大岡山 : B1F-一般図書 780.69/P

現代のオリンピックの根幹である古代のオリンピックはどのようなものだったのでしょうか。

スタジアムのコンディションは今は想像もできないくらい最悪、全裸で勝利か死を賭けた選手たち、水不足と悪臭と発熱と下痢に苦しむ観衆たち…それでも1000年以上も途切れることなく開かれた古代オリンピック。それは、現在とは全く違う、熱狂と過激さを極めた壮大な祭典“究極のエンターテインメント”だったのです！

本書では、写真や絵など過去の資料と共に古代のオリンピックを生き生きと再現しています。古代へのタイムスリップはいかがですか:)

パーソナル・インパクト : 「印象」を演出する、最強のプレゼン術 / マーティン・ニューマン, 小西あおい著

大岡山 : B1F-一般図書 809.2/N

今でも人々の記憶に残っている滝川クリステルさんの「お・も・て・な・し」、情熱に溢れた太田雄貴選手のスピーチ。東京2020年オリンピック・パラリンピック招致成功を陰で支えたマーティン・ニューマン氏が、最強のプレゼン技術を伝えます。

研究発表や就職活動での面接などを控える方、堂々とした立ち居振る舞いや話し方を身に付けたい方はぜひ。

英語で読む羽生結弦/土屋晴仁著；佐藤和枝英訳

大岡山：B2F-語学・留学用資料 837.7/Tu

すずかけ台：2F-語学・留学用資料 837.7/Tu

冬季オリンピックの日本代表、羽生結弦の人生の一冊。

日本語と英語で書いてあるので、英語の勉強にもなります！東京2020に向けて、楽しく英語を勉強しましょう！

オリンピック / 千野帽子編

すずかけ台：1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 908/Ti

オリンピックをめぐる9つの作品が収められたアンソロジー。観戦記にはじまり、選手、記者、観客、様々な人の目線から物語が語られます。“一生に一度”のオリンピックにはスポーツへの興奮や感動だけでなく様々な思いが集まるのだと感じさせられます。オリンピックに寄せる人々の思いを小説として味わってみてください。

陸王 / 池井戸潤著

すずかけ台：1F-ペリパトス文庫：和書 913.6/I

経営悪化をたどる小さな老舗の足袋屋が、ランニングシューズを開発することで再起を目指します。威圧的な大企業や銀行とそれに立ち向かう中小企業という物語の構図は同著者の「下町ロケット」と同様で、買収を企む外資系企業との駆け引きやメインバンクとの交渉は緊迫感があり面白いです。ただし個人的には、シューズを提供するスポンサー企業、シューズの利用者であると同時に企業の広告塔でもあるサポート選手、両者をつなぐシューフィッターといったそれぞれの立場での心理描写が印象的でした。オリンピックでは選手の履いているシューズなどにも目を向けてみたいですね。

オリンピックの身代金 / 奥田英朗著

すずかけ台：1F-ペリパトス文庫：和書 913.6/O

東京オリンピックを控えた高度経済成長期の日本を舞台にした小説です。この時代は目覚ましい発展を遂げていく一方で、貧富の差や過酷な労働環境といった問題も多くありました。そんな背景もあり、主人公はいつしかオリンピックでの爆破テロをほのめかすようになります。ジャンルの的にはサスペンスなのですが、作者特有のどこかユーモラスな文章が癖になります。ぜひ読んでみてください。

作家たちのオリンピック 五輪傑作小説選：細谷正充編

すずかけ台：1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 913.6/Sa

オリンピックにまつわる書き下ろしを含めた7編の小説によるアンソロジー。選手の伝記小説から市民の生活を描いた小説、さらにはブツ飛んだ設定のものまで、同じオリンピックという題材から、作家一人ひとりの個性が存分に表れた作品が並んでいる。東京オリンピックの話題に食傷気味なときにでも1編選んで読んでみると面白いかも？

東京にオリンピックを呼んだ男：強制収容所入りを拒絶した日系二世の物語 / 高杉良著

大岡山：B1F-一般図書 913.6/Ta

終戦から4年——米国・ロサンゼルスに日本選手団が降り立った。全米水泳選手権大会に出場予定の水泳選手、古畑・橋爪らである。完全にアウェーな中、地元アメリカを抑えて大活躍した彼らの陰には、彼らを強かにサポートし、のちに東京オリンピック1964招致の立役者となる1人の日系二世・敏腕企業経営者がいた——“金融腐蝕列島”シリーズをはじめとする経済小説の巨匠・高杉良が描き出す、“東京1964秘話”。

東京23話 / 山内マリコ [著]

すずかけ台 : 1F-ペリパトス文庫 : 文庫・新書 913.6/Y

東京23区をそれぞれテーマとしてその特色や雰囲気をも一人称で描いたユーモア溢れる小説集。東京に住んでいても知らないことがまだまだあるなと感じたり、面白くて実際に行ってみたくなくなってしまったりと、読んでいてとても楽しい一冊です。駒沢オリンピック公園が2020年の東京オリンピックの会場として選ばれていないことに不満を持っている「世田谷区」にも注目です。

オリンピック読本 / 川本信正著

大岡山 : B1F-集密 : 一般図書 W035133

オリンピックを“五輪”と最初に訳した著者が、幻の第12回東京オリンピック開催が決定した直後に記した一冊。

古代オリンピックの歴史に始まり、近代五輪各大会における日本選手団の活躍の様子などを写真を交えつつ記し、4年後に“「新らしきオリムピアード」の祝典”を迎えようとする筆者の熱い思いが80年の時を超えて伝わってくる。

戦前日本におけるスポーツについて興味がある人はぜひ読むことをお勧めする。